

学校家庭地域連携 だより 7月



7月

「新しい仲間とともに」

川和中学校1年6組 星 希美

新しい学校生活が始まって少し経ちました。4月の始め頃、私はドキドキしていました。仲の良い友達と同じクラスになれるだろうか？先生は優しいだろうか？クラスのみんなは、どうだろうか？不安が沢山ありました。

結果から言うとこのクラスになれて幸せです。私がなぜ今幸せだと感じているのか？それはクラスのみんなの三つの行動や言動にあります。

一つ目は自己しよう介の時、みんながあたかい目で見てくれて気持ちのこもったはく手をしてくれたことです。二つ目は違う小学校から来た子が気さくに話しかけてくれたことです。最後はPAAのとき、みんなで協力しあい「ありがとう」と言いあえたことです。

この三つが私の中での不安を消してくれました。そして、このクラスになれて良かったと心から思います。新しい仲間と良いスタートを切ることができてとても嬉しいです。一年後のゴールに向けて仲間とともに日進月歩していきます。



第317号

令和4年7月1日発行

発行者 川和中学校区 学校・家庭・地域

連携事業実行委員会

編集者 広報活動部

事務局 川和中学校 〒941-1361

本紙は川和中学校区内の青少年の健全な育成と安全対策を目的に、学校・家庭・地域社会の関係諸団体や賛同者が連携し、連絡調整、諸活動を進める実行委員会機関紙です。

「1年生になって」

都田西小学校 一年 きたむら しおり

いちねんせいになって、たいいくのとびばこがたのしみ。

あと、はしるのがたのしそう。



1年生になって

川和小学校1年担任 山田 美咲

川和小学校の一員として、毎日楽しく学校生活を送っている1年生。はじめてのことだけですが、子どもたちなりにがんばる姿がたくさん見られます。

- ・さんすうやこくごをがんばっています。(おまた たかひさ)
- ・ずこうでえをかいたり、ねんどでつくったりしてたのしいです。 (かなさし ことは)
- ・ぼくは、こくごのおべんきょうがすきです。いっぱいはっぴょうがんばっています。 (なるみ ゆづき)
- ・ぼくは、さんすうのおべんきょうがすきです。「10をつくろう」ばずるがたのしかったです。 (こまつ たいち)
- ・べんきょうをがんばっています。とくにたいいくをがんばっています。がっこうがとってもたのしいです。 (かみやま かんな)
- ・おともだちがいっぱいいてうれしいです。がっこうにいくのが、らんどせるがおもくてたいへんです。なかやすみに、おそとあそびをするのがたのしいです。 (みうら しゅう)



都田西小学校 一年 しょうご りく

いちねんせいになって、あたらしいともだちが、たくさんできたらうれしいです。

都田西小学校 一年 はらたに かいせい

いちねんせいになって、こうでいで、ともだちとあそんだことが、たのしかった。



「1年生になって」

さんすうのすうじをきれいにかくのをがんばっています。
(ささら とうこ)

きゅうしょくをおいしくたべるのがたのしいです。
(ちよのぶ れな)

あさがおをそだてることがたのしいです。(たかた みづき)
ひとりでんぜんにがっこうにいくことをがんばっています。
(はやし ひなた)

こうでいであそぶことがたのしいです。(たかばたけ みと)
ともだちとなかよくすることをがんばっています。

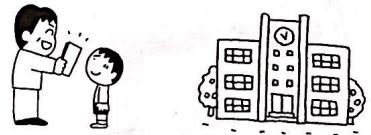
(わたなべ あいか)
さかあがりをがんばりたいです。 (あいざわ けいご)
かわわふじこうえんで、むしとりをしたのがたのしかったです。
(やすい かなと)

「多様性社会を生きるために」

川和中学校副校長 藤井 竜馬

川和中学校区の皆様、はじめまして。今年の4月に川和中学校に着任しました、藤井竜馬（ふじいりゅうま）と申します。日ごろより、川和中学校区の児童・生徒のために、多くのご支援・ご協力ありがとうございます。

社会では多様性を尊重する動きが広まっていますが、児童生徒が過ごす学校生活も多様性社会そのものといえます。これから社会を生きるために重要なことは、さまざまな立場や異なる考え方をもつ人たちが互いに認め合い、それぞれの個性を發揮して、自分たちの生活に貢献できることだと思います。現在はコロナ禍でもあり、落ちつかない状況ではありますが、これからも「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指していきますので、今後とも温かく子どもたちを支え見守ってくださいますようお願いします。



「よろしくお願いします！」

川和東小学校副校長 藤本 尚子

4月に青葉区鶴志田第一小学校より着任いたしました。小規模校から大規模校への異動ですが、子ども達一人ひとりを大切に育んでいきたいと思っています。

わたしは平成8年度から産育休を挟んで8年間、子育て真っ盛りの時に川和小学校でもお世話になりました。当時はグリーンラインもなく、市が尾からバスで通っていました。田んぼの学習や餅つき、夏の虫送り等、地域の行事に参加したことはかけがいのない楽しい思い出となっています。お陰様で二人の子どもも成人し、川和中blockに戻ってくることができました。これからどんなことが起こるのか、わくわくしています。当時も今も、このblockの子ども達は明るく素直でかわいいですし、地域の方はとても温かいなと感じています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

「地域の皆様へ」

川和小学校副校長 島田 正樹

川和小学校に着任して3年目になります。この2年間は、新型コロナウイルス感染症のために多くの学校行事や地域行事が、中止や変更を余儀なくされました。今年度は、感染症が終息の方向に向かい、小中の交流、地域の方との交流が以前のように行われることを切に願います。

この川和中blockは、学校と地域の結びつきが非常に強く、学校が地域に支えられている。子どもたちが地域の皆様に守られていると、この2年間感じています。小学生、中学生が互いに交流する。また地域に出かけ、町探検や職業体験などでお世話になる、地域のお祭りに参加し「川和」の子どもとして地域の皆様に育てていただき、そのような日常が一日も早く戻ってほしいと思います。子どもたちをこれからもよろしくお願ひいたします。



地域の皆様へ

都田西小学校副校長 彼島 節子

今年度、都田西小学校に着任しました彼島（かのしま）と申します。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より子ども達の健全育成のためにご尽力いただきまして誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症により、子ども達を取り巻く環境が大きく変わり、様々な制限のある生活が長く続いています。感染症の心配をせずに元気いっぱいに学んだり遊んだりできる日が来ることを願ってやみません。

今、子ども達のためにできることは何か。保護者や地域の皆様と学校が知恵を出し合い、協力しあって、取り組んでいくからだと思います。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

注意しよう マスク熱中症



日傘や 帽子を忘れずに



飲み物を 持ち歩こう



熱中症対策特集



お部屋の 温度と湿度に 気を配りましょう



直射日光を 避けよう



エアコンを 上手に活用

